

としょかん だいごう
図書館だより 第4号

令和2年10月26日
横浜市立豊田小学校
校長
学校司書

例年とは大きく異なるコロナ禍で始まった今年度の前期が終わり、早くも残り半年を切りました。

この半年、図書館も休校期間や、分散登校などの影響で大幅に利用時間が減り、またソーシャルディスタンスを配慮して6月中は入館人数を制限しました。コロナの影響は図書館内だけでなく、図書委員会や図書館支援隊などのさまざまな読書推進活動にも大きく影を落としました。

今回の図書館だよりは、そんなコロナ禍での前期の読書状況を振り返る、「前期の学年別人気本貸出ランキング」と「前期の類別貸出数」の発表及び、これから開催される「はまっ子読書の日 スペシャルイベント」を紹介しします。

ぜんき 前期 学年別人気本貸出ランキング

	1位	2位	3位
1年	かいけつゾロリシリーズ／原ゆたか 作	ルルとララシリーズ／あんびる やすこ 作	ふわふわだあれ？／いりやま さとし 作
2年	サバイバルシリーズ	ダレカラキイタ？シリーズ／かとう はじめ さく 加藤 一作	わけあって絶滅しましたシリーズ／いまいずみただあき かんしゅう 今泉忠明 監修
3年	かんたんお菓子他、料理本シリーズ	がっこう おし 学校では教えてくれない大切なことシリーズ	サバイバルシリーズ
4年	がっこう おし 学校では教えてくれない大切なことシリーズ	ブラックジャックシリーズ	せかい でんき 世界の伝記シリーズ
5年	せかい でんき 世界の伝記シリーズ	スラムダンクシリーズ	ブラック教室は知っている他、探偵チームKZシリーズ
6年	ブラックジャックシリーズ	ブラック教室は知っている他、探偵チームKZシリーズ	ふしぎ駄菓子屋銭天童シリーズ
ぜんがくねん 全学年	せかい でんき 世界の伝記シリーズ	サバイバルシリーズ	かいけつゾロリシリーズ

ぜんき 前期 類別貸出数

ぶんるい 分類	0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	E類	その他	ごうけい 合計
	ずかん 図鑑・ じてん 事典	てつがく 哲学 かんが 考えた かた 考え方 こころ 心	れきし 歴史 てんき 伝記	しゃかい 社会 くらし 福祉	しぜん 自然 かがく 科学 りか	こうぎょう 工業 かていか 家庭科	さんぎょう 産業 こめ 米 しごと	げいじゆつ 芸術 ずこう 図工 おんがく 音楽	げんご 言語 もじ ことば えいご	ぶんがく 文学 ものがたり 物語 し 詩	えほん 絵本		
前年度	87	99	92	175	630	284	109	529	85	1,778	912	19	4,799
今年度	113	72	567	110	540	267	60	600	60	1,623	529	22	4,563

(授業で利用した本数は含みません)

か こ ねん ぜんき かしたししゅうけいひょう
過去3年の前期 貸出集計表

ねんど ぜんき 年度(前期)	しらべがくしゅう ほん 調べ学習の本(0~8類)	ものがたり(9類)	えほん(E類)、その他	かしたししゅうけい 貸出合計数
2018年	1,839冊	2,298冊	637冊	4,774冊
2019年	2,090冊	1,778冊	931冊	4,799冊
2020年	2,389冊	1,623冊	551冊	4,563冊

上の表を見ると前期の貸出合計数は、4年半前に豊田小に学校司書が来て以来、初めての減少です。しかし、このコロナ禍では当然予想されましたし、むしろ決して悪くない数字ではないかと胸をなで下ろしています。例年は夏休みと冬休みの前を除き、通常は一人1冊の貸出しのところ、今年は休校措置の解除後すぐに、一人3冊まで貸出しOKにしたことが功を奏しました。

それとは別に、今年は類別貸出数に特別な動きがありました。それは人気本貸出ランキングにも表れていますが、伝記など2類の数字が一気に前年の6倍以上に増えたことです。その要因は、今年度の図書購入の計画の際に図書館担当教諭から、「伝記」の本がみんな古くなっているので一新したいとの要望があり、新刊の「世界の伝記シリーズ」を買いそろえました。また、コミック版「伝記シリーズ」も大人買いして、低学年から高学年まで幅広く「伝記」に親しむことができたからこそ、この数字を確保できたと思います。

はまっ子読書の日 スペシャルイベント

横浜市では、秋の全国読書週間の11月の第1金曜日を「はまっ子読書の日」と決め、横浜市立のすべての図書館や学校で子どもたちにより多くの本に親しんでもらうためにいろいろな活動が行われます。

豊田小学校では例年この時期に「はまっ子読書の日 スペシャルイベント」として図書館支援隊の方が中心になって企画した、『図書館クイズ』を開催していましたが、コロナ禍で図書館支援隊の活動ができないので、今年は冬に開催していた「図書館マスタークイズ」を行います。

「図書館マスター」とは、図書館にある本の中からさまざまなクイズを毎週月曜日に2問ずつ、7週間に亘り出題します。すべてのクイズに正解すると「図書館マスターカード」に14個のスタンプがもらえます。14点満点の内10点以上獲得すると、「図書館マスター」として表彰されるというイベントです。

今年は10月26日(月)~12月11日(金)までの7週間、図書館にて開催します。

第1週目のクイズは次の2問です。(前回の図書館だよりで紹介した本からの出題です。)

(低学年用) アメリカの絵本作家、バージニア・リー・パートンさんが書いた、世界中で読まれている絵本は次の3つの内のどれでしょう。

- ① おおきな木
- ② ちいさいおうち
- ③ はらぺこあおむし

(高学年用) 長谷川集平さんの作品、「ホームランを打ったことのない君に」で、主人公のルイが打った打球はどうなったでしょうか。3つの数字も入れて書きなさい。

最近、図書館前のホワイトボードに「へんしんことば」を掲示しました。文字の順番を入れ替えて違う意味のことばにする、ということばあそびで、子どもたちが自由に文字を入れ替えるようにしました。図書館にある『ことばあそび』の本から、まず最初に「となかいは」と表示しました。するとすぐ中休みに「先生できたよ。」と声がかかり行って見ると、「とかいのはな」に変わっていました。またすぐに呼ばれ、今度は「いなかのはと」ができていました。昼休みに2人の読書家の6年生がチャレンジ。まず1人が「はとのないか」を、少ししてもう1人が「はかないと」を作りました。こんなの本にのっていません。さすが読書家、「はかない」という言葉が自然に出てくるのにびっくり。「本の力って本当にすごいなあ」と心の中で拍手しました。ではまた次号でお目にかかりましょう。